

東京圏国家戦略特別区域会議

第1回「神奈川県 健康・医療分科会」

横浜市提出資料



平成27年1月28日

横浜市

横浜市立大学を中核とした臨床研究ネットワークによる高度医療の開発促進

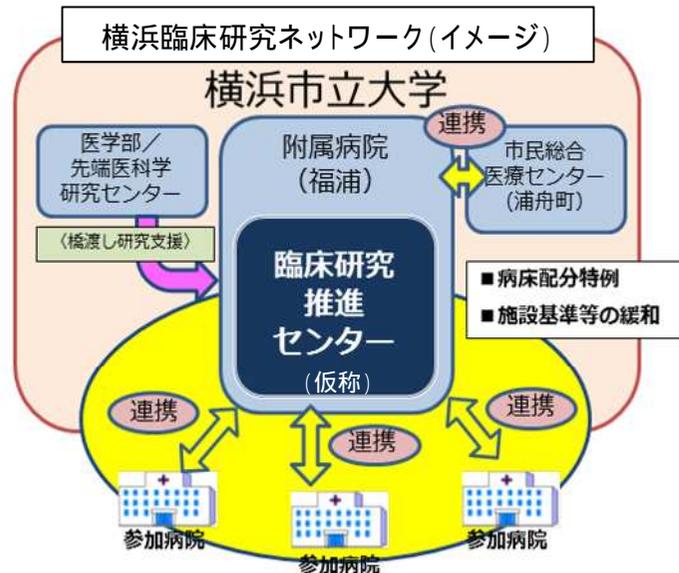
横浜臨床研究ネットワークの目的

横浜市立大学を中心とした病院間ネットワークを形成することによって、多数の臨床研究の症例数の確保を図り、創薬などの研究開発を加速させることにより、成果のスピーディーな実用化を図る。

京浜臨海部ライフ
イノベーション国際
戦略総合特区を活用
した革新的医薬品等
の開発・製造支援

H23年12月特区指定

国際戦略総合
特区の方向性を
さらに促進



国家戦略特区の活用

【H26年12月認定】

医療法の特例による病床規制の緩和を活用 (新規病床20床確保)

【追加に向け検討すべき規制改革事項等】

第 相臨床試験専用病床に関する施設基準の緩和

(患者一人当たりの病室面積)

現状: 6.4㎡ 要望: 4.3㎡

(廊下幅)

現状: 2.1m 要望: 1.6m

保険外併用療養の拡大

横浜市立大学などの一定の要件を満たす特定機能病院等



研究開発の加速化を進め、研究成果の社会への早期還元を図る。

臨床研究推進のための環境整備 (27年度)

医療局の新設

・医療分野での横浜市立大学との連携強化、先端医療の臨床活用への橋渡しを推進

横浜臨床研究ネットワーク支援事業

【予算: 1億円】

iPS実用化拠点整備事業

【予算: 6億4,300万円】